

ギョウジャンニク	<i>Allium victorialis</i> L. subsp. <i>platyphyllum</i> Hultén	絶滅危惧Ⅱ類
		ユリ科
選定理由	山菜ブームの影響で、個体数が急速に減少している。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	鱗茎は狭披針形、褐色の古い葉鞘の繊維で覆われる。葉は2-3枚、葉鞘と葉柄がある。葉身は楕円形、長さ10-30cm、幅4-8cm。花茎は高さ40-60cm、花は先端の散形花序に20-50個つく。花被片は楕円形、長さ4-6mm、白色から淡紫色。花糸は基部が花被片に癒着する。子房は上半分が深く3裂する。花柱は長さ6-7mm、柱頭は1個。	
生態的特徴	山地帯から亜高山帯の林床に生育する。花期は6-7月。	
分布状況	日本に固有で、北海道から近畿までである。岐阜県では県北と県南の西部にある。標高は700-1500m。	
減少要因	食用と販売目的の採取。	
保全対策	採取の禁止。	
特記事項	山菜としてほぼ取り尽くされた所もある。	
参考文献		

文責: 高橋弘